

ミニギャラリー

今月の題字



熊野高校 3年 中村 実緒さん

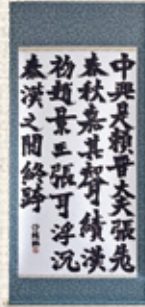
町の人口と世帯数

平成28年12月31日  
(前年同月比較)

人口：24,434人 (-8)  
男：11,858人 (-18)  
女：12,576人 (+10)  
世帯数：10,557世帯 (-7)

(住民基本台帳)

熊野高校 3年 郡 沙綾 さん



【評】中国古典「張猛龍碑」の臨書作品です。角張った力強い点画の中に、縦長で右上がりの文字が特徴です。勢いのあるシャープな線を羊毛筆の弾力を使って、全紙にのびのびと書き上げました。「安芸全国書展高校生大会」に出品し「優秀賞」を受賞しました。

熊野高校 2年 岸川 輝良々 さん



【評】「陽への想い」 細かな彫刻が特徴の立体絵画ともいえる作品。質の異なる木材の色を活かし、華やかさと、外界から隔絶された女性の悲哀を絶妙に表現している。「県知事賞」受賞。全国大会の県代表作品に選出。

熊野の自然 (329)

ヒラタケ (ヒラタケ科)



北半球の温帯に広く分布。味も匂いも温和で、どんな料理にも合う優秀な食菌です。各地で盛んに栽培され、おがくずを詰めた瓶栽培が主流です。瓶栽培では株状になり、柄は傘の中心につきまます。シメジの名で売られています。キノコの多くが、実はこの平茸の栽培品です。ホンシメジは、樹木の根と共生関係にある菌根菌で、人工栽培は困難です。ヒラタケは、広葉樹(稀に針葉樹)の枯木や倒木から重なり合って発生します。傘は灰色〜灰褐色。開くと半円形〜扇形。平たい傘は、縁が反り返ってやや漏斗状になります。直径は5〜15cm。柄は短く、傘の中心から外れてつき、偏心生か側生。時にほぼ無柄です。ヒダは白色〜灰白色でやや粗く、柄に垂生します。肉は白色で、厚く弾力があります。

主に晩秋〜冬に発生するので、寒茸とも呼ばれます。写真は、1月下旬に石岳山で撮りました。昨年12月には、萩原の門前神社の町指定天然記念物のフジに多数発生していました。材を白く腐らせる白色腐朽菌です。ウスヒラタケは、ヒラタケより肉が薄く、傘の色も淡色の食菌です。キシメジ科のツキヨタケはブナなどの枯木に発生し、町内では見ませんが中毒例が多く要注意です。柄の根元を切ると黒斑があるのが特徴です。

【写真・文】 緑花文化士 富沢由美子



(商工観光課)

県内市町発!!  
おすすめイベント  
ピタコアツプ  
【坂町水産まつり  
チャリティーバザール】  
高品質な「坂町かき」の販売、チャリティー販売、鮮魚販売、坂中学校生徒の物産展示販売コーナーもあります。  
時2月19日(日)午前9時〜  
売り切れまで  
所平成ヶ浜、バルティエフジ坂 (JR坂駅から徒歩2分)  
※駐車場あり  
問坂町漁業協同組合 ☎885-0009

切り取って、電話機などに貼ってお使い下さい。  
防災無線放送再生ダイヤル (放送終了後24時間自動消音)  
082-820-5640